

○遊々の森「三本木 夢と命の森」協定更新について

～青森県立三本木高等学校附属中学校～

3月19日(木)青森県立三本木高等学校附属中学校校長室において、遊々の森「三本木 夢と命の森」の協定を平成32年3月31日までの5年間更新しました。[写真1]

平成21年3月に協定、21年から23年に渡って植えられたブナ10000本は、植えた後の生徒をはじめ同校の保護者会、OB会の支援による草刈りの結果、成長の良いものでは2mを超える状況にあります。[写真2]

SSH認定校でもある同校では、植えてからの生育調査などを行うほか、このフィールドで、北里大学及び岩手大学などのから講師を迎え学習や研究を実施し、その成果を2月に秋田市で開催された、東北森林管理局主催の「平成26年度森林・林業技術発表会」で発表しています。[写真3]

今回の協定更新にあたり福井校長先生からは、「SSH指定校も更新申請しているが、まだ決定されていないが、遊々の森は今後も継続して行きたい。今後ともご支援ご指導をお願いする。」、担当教諭からも「植えたブナの生育の悪いところもありどうしたら良いのか。」、「生徒が植えたブナの踏みつけや伐採等も見受けられる。」など運営や保全面の要望、相談もあり、当署も27年度以降現地状況を把握しながら支援することとしました。

三八上北署としては、こうした次期世代を担う生徒たちが、遊々の森での多様な体験活動を通して、将来の生きる力や人格形成に役立てて欲しいと願っています。



協定の更新[写真1]



左:福井校長・右:佐藤署長



研究成果の発表[写真3]



生育状況[写真2]



H21の植栽



H26の状況